

建築と社会

Architecture and Society

日本建築協会

2014 No. 1105

4

特集：第20回 会員作品 "私の空間作法"



チラシ封入サービスのご案内

会員限定

貴社の広告チラシを「建築と社会」発送と“同封”しませんか。
チラシをご提供下さい。

料金 1回につき

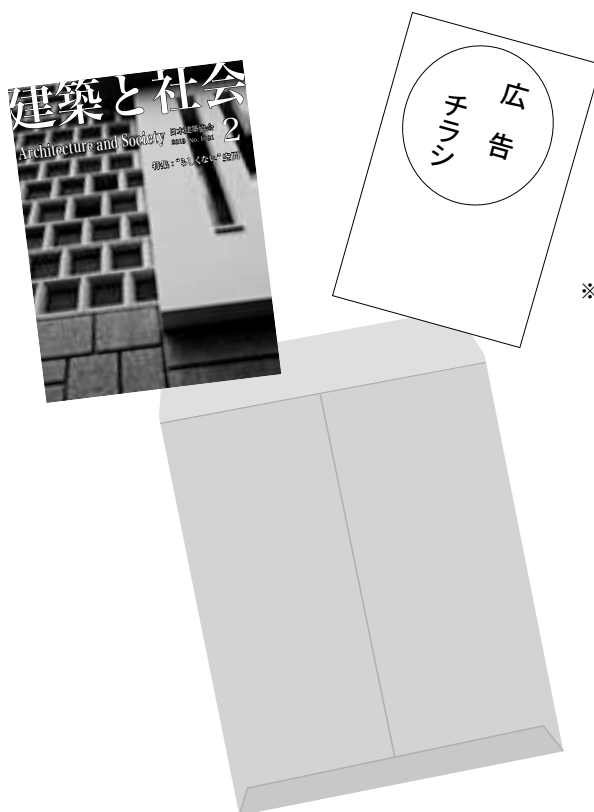
20,000円 (税別)

当協会でチラシをプリント（カラー片面）した場合20円／枚必要です。

申し込み方法：申込用紙にご記入いただきFAXまたはE-mailでお送り下さい。

お問合せは（一社）日本建築協会（担当／片山）まで

TEL.06-6946-6981 FAX.06-6946-6984 E-mail:h-katayama@aaj.or.jp



※チラシサイズ：A4版
パンフレット：20頁程度迄

申込用紙 きりとり

会社名		
ご連絡先 (住所・担当者名・部署名)	住所 担当者名	部署名
ご連絡先 電話番号・E-mail	電話番号 E-mail：	

主催 日本建築協会

平成26年度 第60回工高生デザインコンクール

設計課題 私の家

課題の趣旨

10年後の皆さんはどのような暮らしをしているのでしょうか。多くの皆さんが学校を卒業し、社会の一員として活躍を始めているのではないのでしょうか。10年後は東京オリンピックが開催された後で、リニア中央新幹線の開業を控えるほか、ネットワーク環境の発展による地域間の情報格差の解消など、今とは異なる社会インフラが整備され、新たなライフスタイルが生まれているかもしれ



ません。また、地球規模の環境への影響についてさらなる関心を持ち、具体的な実行が求められるかもしれません。

皆さんのライフスタイルの基盤となる住まいを自分自身あるいは自分の家族が「建築主」となり、10年後のその時の自分の生活を想像し、社会や身近な生活の中にある「私の家」のあり方を提案してください。

設計条件

1. 敷地 地：敷地の大きさ形状とも自由とし、具体的な敷地を設定する。
2. 規模 模：延べ面積・構造・階数は自由とする。
3. 所要 室：使用方法を想定し、必要と思われるスペースを適宜設ける。

所要図等

1. 敷地周辺図：敷地周辺の環境や状況を示す。縮尺を明示する。
2. 配置図：敷地における建物の位置、道路との関係、方位、縮尺を明示する。
3. 平面図：縮尺を明示する。
4. 立面図：縮尺を明示する。(2面以上)
5. 断面図：縮尺を明示する。(1面以上)
6. 透視図：設計意図が最も反映するところを表現する。着色仕上げ。模型写真に代えてもよい。
7. 設計説明：設計意図を表すサブタイトルを必ずつけること。想定する居住人数(家族構成)を明記すること。設計趣旨(建物の使い方、立地、周囲の状況など)についての説明を含む)を記入すること。
8. 建築概要：敷地面積、建築物の構造・階数、各階床面積および延べ床面積などを示す。
9. その他：平面図、断面図には、室名・寸法を記入する。その他、必要とされる手書きの図面は加えてもよい。

応募条件

1. 用紙：用紙はケント紙などの厚手の製図用紙A1判(594mm×841mm)1枚を使用し、直接描くこと。トレーシングペーパーと裏打ち用紙の重ね使用や図面のパネル化は認めない。
2. 仕上げ：要求図面は手書きによる黒色鉛筆仕上げによる。(作図、文字)ただし、色鉛筆による着色は可。透視図は彩色用紙を用い、図面に貼り付けてもよい。透視図(CGなどの印刷出力物の使用は不可。)や模型写真(模型写真の合成加工などは不可。)以外のものを貼り付けることや、図面のパネル化、製図用紙への図表等の印刷出力など上記以外の仕上げは禁止する。

審査員 (50音順・敬称略)

審査員長 上原 徹/㈱日建設計設計部門設計部長
審査員 上羽 一輝/㈱東畑建築事務所大阪事務所設計部長
大平 滋彦/㈱竹中工務店設計部設計第5部長
奥田 英雄/㈱大林組大阪本店建築事業部建築設計部部長
木下 光/関西大学環境都市工学部建築学科准教授

3. 応募資格：平成26年4月現在、高等学校在籍の生徒で、個人で制作したものとする。
4. その他：用紙や図面には、学校名・学年・氏名など応募者がわかるような表示は行わないこと。
※以上の条件に違反した応募作品は、失格とすることがある。

応募方法

1. 応募用紙に、学校名・所在地・学年・氏名を記入の上、封筒に入れ密封し、図面の裏に貼りつけること。(応募用紙が足りない場合は当会HP (<http://www.aaj.or.jp>) からダウンロードして下さい。)
2. 応募作品は学校を通じて提出すること。

締切期日

平成26年9月30日(火)の消印、あるいは受付印のあるものをもって締め切る。

送付先

〒540-6591 大阪市中央区大手前1丁目7番31号 OMMビル7階
一般社団法人 日本建築協会 第60回工高生デザインコンクール係
TEL.06-6946-6981 FAX.06-6946-6984
E-mail:h-katayama@aaj.or.jp URL:<http://www.aaj.or.jp>

入選作品の数および賞

1. 入選作品は10点とする。
2. 入選作品のうちから最優秀賞1点、優秀賞2点を選ぶ。
3. 最優秀賞・優秀賞作品には、賞状および表彰盾を贈り、その他の入選作品には、賞状を贈る。
4. 応募者全員に参加賞を贈る。
※入選作品の著作権は本会に属する。

入選者発表および表彰式

審査の結果は、各学校ならびに本人に通知するほか、本会の会誌「建築と社会」11月号に発表し、入選作品は翌年1月号に掲載する。表彰式は、平成26年11月8日(土)に行う。

このコンクールは、高校生の設計技能の向上を目的とし、昭和30年より毎年テーマを変えて開催しています。

グランフロント大阪 ナレッジキャピタル 見学会

この見学会は、建築CPD情報提供
制度認定プログラムです。

(公社)大阪府建築士会 (2単位)

(公社)日本建築家協会 (2単位)

●建築概要

所在地 大阪市北区大深町

建築主 NTT都市開発 大林組
オリックス不動産 関電
不動産 新日鉄興和不動
産 積水ハウス 竹中工
務店 東京建物 日本土
地建物 阪急電鉄 三井
住友信託銀行 三菱地所
日建設計+三菱地所設計
+NTTファシリティーズ
(株)大林組、(株)竹中工務店

敷地面積 47,917.94㎡

建築面積 4,575.02㎡

延べ面積 567,927.07㎡
(全街区合計)

構造 S造、SRC造、RC造
建物用途 オフィス、商業、劇場、
集会場、ホテル、住宅、
駐車場

「関西最後の一等地」といわれた大阪
駅北側貨物ヤード24haのうち、先行開
発区域7haが竣工・開業しました。「水
と緑とにぎわいの系」をメインテー
マとして「街歩きが楽しいまちをつく
る」ことを目指したものです。全体
は「群像としての存在感とアイデン
ティティ」を重視した意匠とし、低層
部は街区を跨いで調和と連続感のある
ものに。また高層部は先進性を表現し
たガラスファサードのツインオフィス
タワーと、「住まう」「寛ぐ」という場
にふさわしく自然の風合いある素材を
活かしたホテルタワー・マンションタ
ワーが建ち並ぶものです。そして中心
にはさまざまなイベントが催される大
アトリウム空間『ナレッジプラザ』を
配しています。低層部屋上はガーデン
テラスとし、外構には豊かな緑と水景
を配し、内外問わず随所に居心地の好
いスペースを設えました。

■回遊が楽しめるシークエンス

内部には、大阪駅と直結する低層部を
縦断し南北に貫くコンコース『創造の
みち』をつくっています。これを主軸
として各所の縦動線や外周歩道、屋上
庭園などを結びつけ、回遊性に富んだ

刺激的な空間とシークエンスを構成し
ました。原寸の断面模型を見ているよ
うな感覚で「空間を見て、楽しんでい
ただけるもの」を実現しています。

■ナレッジキャピタルという挑戦

グランフロントの中核『ナレッジキャ
ピタル』。ラボやショールーム、サロ
ン、シアター、コンベンションなどが
複合・連携しながらプラザを取り巻
いています。訪れる人々はここで新し
い友人と出会い、新しい発見に出会
い、最先端の技術や情感豊かな芸術
に出会います。イベント、展示、パ
フォーマンス、レクチャー、シンポジ
ウム、ディスカッション、パーティー
などさまざまなスタイルで、世代を超
えた「人と人がつながる場所」を求
めてつくられたのがこのナレッジキャ
ピタルです。とりわけ新しい試みとし
て展開し、開業以来大変な人気を誇る
『ナレッジサロン』を中心に、『ナレ
ジキャピタル』が掲げる高い目標と志
や素顔に触れ、『グランフロント大阪』
というまちとともに、これからどのよ
うに発展していこうとするのかをご覧
いただければ幸いです。

(岡田耕治/日建設計)

日時 2014年 4月23日(水)

13:30~15:30

講師 岡田耕治氏(株)日建設計)ほか

集合 現地/JR大阪駅、阪急梅田
駅等下車

定員 30名・先着順

参加費 会員1,500円、一般2,500円
学生1,000円

申込方法 FAXまたはEメールで、

①催し名「グランフロント」

②氏名

③会員・一般の種別

(会員は、個人・団体を明記)

④職場名または学校名

⑤参加証送付先

⑥連絡先電話番号

⑦CPDを申請される方は、申

請先の団体名とIDを明記

申込先 (一社)日本建築協会編集事業課

TEL.06-6946-6981 FAX.06-6946-6984

E-mail: jigyoka@aaj.or.jp



建築と社会

Architecture and Society

4 | NO.1105 | 2014
日本建築協会

■特集予告

- 5月号／オフィスビル設備の変遷とこれから
- 6月号／オフィスのこれから

今月の表紙

カトリック宝塚教会

設計：村野藤吾
竣工：1965年
所在地：兵庫県宝塚市



しっとりと揺めくラワンの天井。聖堂は胃袋の中ということになるのだろうか。車窓から見える独創的な形状はそのまま内部に現れる。この地で洗礼を受け、並々ならぬ愛着を持ったとされる村野の手記によると「白鯨」とあり、地面から「はえ」ているようにしたかったと記されている。荒々しく雄大な外観と、素朴で暖かい内部をもつ愛らしい建築は、住宅と線路の隙間に漂着した後も、この地にしっかりと根を張っている。

(東畑建築事務所／大西広朗)

撮影(表紙)

東出尚子(東出清彦写真事務所)

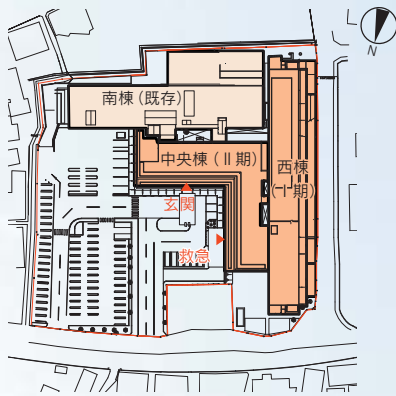
デザイン・撮影(目次)

嘉村知紀(東出清彦写真事務所)

J o u r n a l o f t h e A r c h i t e c t u r a l A s s o c i a t i o n o f J a p a n

特集●第20回会員作品“私の空間作法”

Roll With It...	●水谷俊博+武蔵野大学水谷研究所	8
EDGE HOUSE IV	●森村政悦	9
デッキのある中庭を中心に風景を楽しむ	●吉村篤一+建築環境研究所	10
木陰の下に広がる地域空間	●新居照和&ヴァサンティ	11
回遊する住まい	●岸	12
20年めのリニューアル	●中尾勝悦	13
都市生活の自由	●早崎伸一+平居直+平尾和洋	14
生谷家住宅主屋—現代の「会所」に蘇生	●長瀬博一	15
地形のリニューアル	●田中啓文	16
ガンダムの家	●瀬戸本淳	17
会告	第60回工高生デザインコンクール(設計課題:私の家) グランフロント大阪ナレッジキャピタル見学会	1 2
作品作風	庄原赤十字病院	4
gallery	KITUMI BABY CHAIR(キツミ・ベビーチェア) ●栗田一行	6
法令コーナー	奈良県の近代化遺産—近代化遺産総合調査報告— ●矢谷早	18
設備の頁	トッブランナー変圧器 第二次判断基準●齋藤博一	19
関西の建築界群像	森下修●中村圭祐	20
再読	大阪聖母女学院●酒井一光	21
関西近代建築		
information	名画のあった場所 ~酒井抱一、小出楯重からデルヴォー、マグリットまで~。コレクションにみる洋画の時代。篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN. 特別展 山の神仏 吉野・熊野・高野。阪神・淡路大震災20年展 夢見るフランス絵画 印象派からエコール・ド・パリへ。特別展 上方の浮世絵 一大坂・京都の粋と技一。特別展 開館20周年記念 上村松園展 ~画道ひとすじ~	25
発表	第45回 平成25年度 中部建築賞受賞作品発表	27
月間の動き	平成26年2月	28



建 築 主 日本赤十字社
設計・監理 安井建築設計事務所
施 工 清水建設

庄原赤十字病院

庄原赤十字病院は地元の篤志家により組合立庄原病院として創設され、昭和18年に日本赤十字社に移管されて以来、地域の中核病院としての役割を担っている。今回の計画では敷地西側用地に西棟（Ⅰ期）建設をかわきりに、既存棟を使用しながらの現地建替で、約3年にも及ぶ工事となった。

●地域とつながる病院づくり

既存病棟（南棟）とL字型につながる新病院は、エントランスホールにガラスカーテンウォールを採用することで、利用者を出迎える開放的な顔作りとしている。内装は明るい木を基調とし、増築することで生まれた4つの光庭によって、冬の寒い庄原でも患者やスタッフが明るく快適に過ごせる環境づくりを目指した。エントランスホールでは、ミニコンサートが行えるよう2階部分に吹抜を取り囲むギャラリースペースを確保し、地域の皆さんに親しまれる施設づくりに努めている。

●街に活力を与える建物づくり

地域の間伐材等を利用した木質ペレットを利用したボイラーを採用し、病院給湯の一部に利用することで、温室効果ガス排出の削減と、地域内産業の活性化に努めた。

●よりよい医療を提供する環境づくり

各科カンファレンス中央に清潔感のあるカンファレンスホールを配置した。部門を越えたスタッフの交流を促し、教育と寛ぎの空間として、過酷な中核病院を支えるスタッフにとって働きやすい環境を目指した。

（谷 馨、山本秀雄、植田和宏、東園浩文、高田和子、尾杉友浩／安井建築設計事務所）

所 在 地——広島県庄原市西本町
敷地面積——10,647.81㎡
建築面積——3,081.13㎡（増築）、1,740.91㎡（既存）
延床面積——13,614.76㎡（増築）、8,746.14㎡（既存）
構造規模——S造（一部SRC造）、地上7階、地下1階
工 期——2011年2月～2013年12月
最 寄 駅——JR備後庄原駅
撮 影——佐藤和成（佐藤フォト）
山 本 隆（庄原赤十字病院）（*）



西棟北側からの外観



7階展望ラウンジ（*）



カンファレンスホール（*）



療養病棟4床室





KITUMI BABY CHAIR (キツミ・ベビーチェア)

木工家

栗田 一行

この椅子は、子どもの成長に合わせて調整できるベビーチェアです。

脱着式の腰フレームと股ベルト、座の高さ・奥行き・足置き高さの調整により、赤ちゃんから大人まで座ることができます。

無垢の木を使ったシンプルな形に、各部の調整機構を機能的なだけでなく、デザイン的なアクセントとなるよう設計しました。

この椅子は、積み木のように椅子本体に木のブロックを挟み込み、その数で座高さを調整します。子供が大きくなるにつれ、ブロックの数は減っていき、普通の椅子のスケールへと変化します。

使う人の暮らしに寄り添い、世代を超えて長く使ってもらえることを目指して作りました。

栗田 一行（あわた かずゆき）

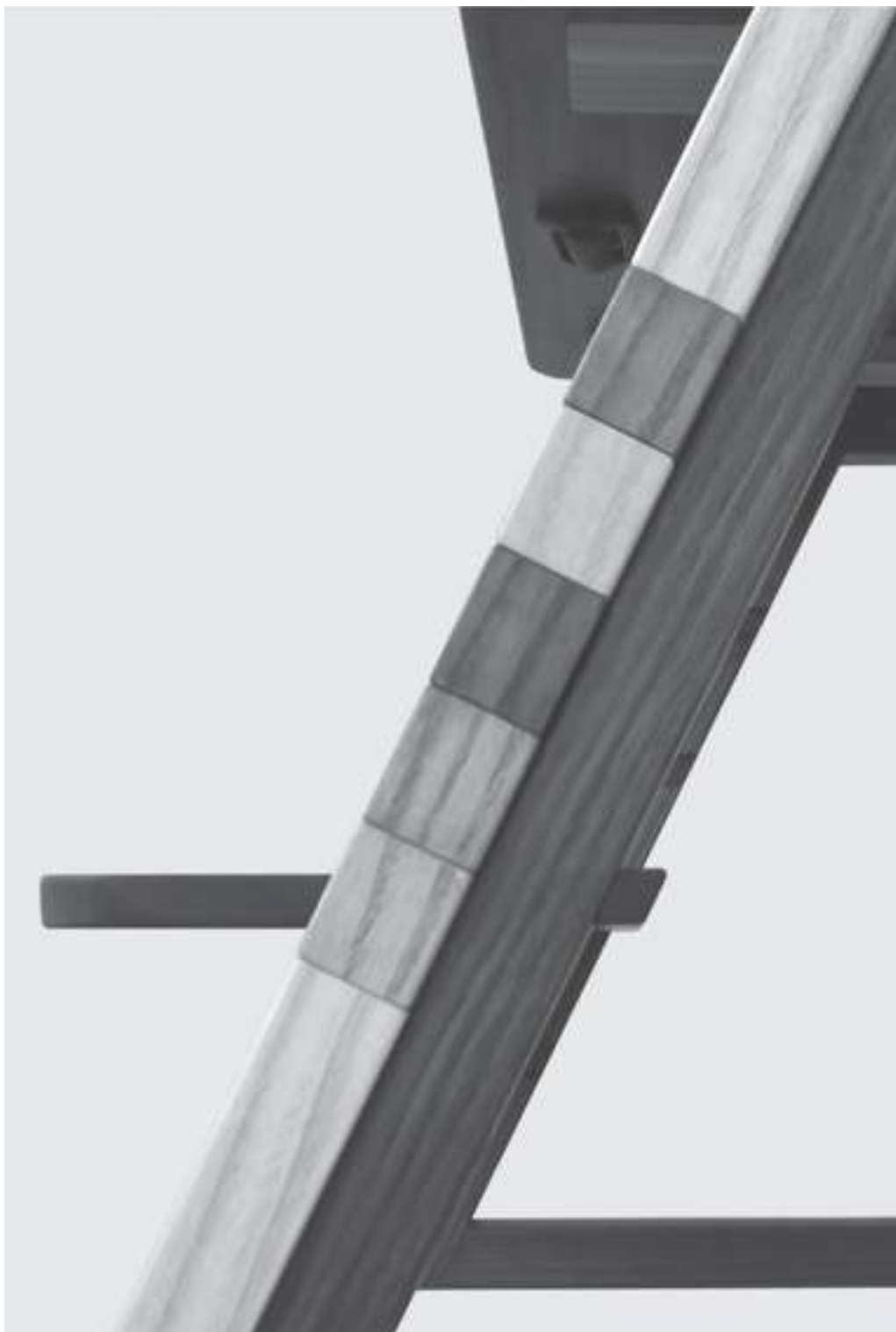
1979年 名古屋市に生まれる

2005年 京都工芸繊維大学
工芸科学研究科修士課程修了

2005年 竹中工務店入社

2012年 木工房KIKKA WORKS設立
www.kikkaworks.com

2013年 グッドデザイン賞受賞



企画編集 鞆野淳司（作品作風小委員会）



私の空間作法

日本建築協会 ■ 会員作品特集



心満たされる街、建物、空間とは・・・？

建築をとりまく社会は刻々と変化し、その波には逆らえませんが、
与えられた場でできる限りのことをして、
使う人が満たされる建物をつくっていったら幸せだなと思います。

今年もそれぞれに思いを込められた力作のご応募、ありがとうございました。
会員の皆様のますますのご活躍を願っております。

Roll With It...

水谷俊博 + 武蔵野大学水谷研究室



西東京市内にある大学のキャンパス内に建設した木造仮設建築物の東屋。存在する環境や場所を少し内省的な趣きで体感でき、個、或いは数人で憩える場所づくりをおこなった。2400mm角の箱のような空間を身体に密着したスケールの540~620mmの幅のレイヤー状の空間に4分割し、各スペースはさまざまなスケールの段差を形成しながら、文字・写真・音・実像といったモチーフで周辺の環境と間接的に関係づけられる建築装備を内包している。各レイヤー状の空間は綿糸を貼りめぐらせた松材のフレームでスクリーンのように仕切られながらもさまざまな大きさの開口によりシームレスにつながり、内部でおこなわれる人々のアクティビティが数層の階調の透過度をもって表出し、外部と内部、内部空間の間に多様なグラデーションを有しながら相互の関係性を創りだしている。多面的、複眼的に環境と自分を見つめなおし、「あなたにとってのIt（大切なもの）は何か」を思索できるような空間づくりをめざした。（水谷俊博）



■Roll With It...

所在地 東京都西東京市新町

施工 武蔵野大学水谷俊博研究室

敷地面積 102.01㎡

建築面積 5.76㎡

延床面積 5.76㎡

構造規模 W造

竣工 2013年10月

撮影 武蔵野大学水谷俊博研究室、宮本一行

水谷研究室制作メンバー

浦野ちさと、遠藤理奈、大澤香奈、坂巻優子、金子恵美、中澤明日美、袴田千晶、松村有紗、杉村照平、近藤優香、林佑香、池田燎平、小川駿馬、内藤祐美、奥村恵利、宮本一行、手塚愛、山田香織

EDGE HOUSE IV

森村政悦 森村政悦建築設計事務所



敷地は名古屋市内に位置する。
建物は、都市型住宅に求められるプライバシーを確保し、自然採光を確保させるために窓の配置をコンクリート構造体の形状によって決定し、快適で安全な住空間を提案した。
平面計画では、北側道路の奥まった玄関からアプローチする。そして建物中央部のLDKへ導かれる。そして家族が共に過ごすLDKは、その周囲を様々な高低差を持つ寝室やテラスを繋げて配置している。そういったレベルの差異によって生じた開口から近隣の風景を見渡することができる。と共に、強固な構造体で保護された生活空間へと光を導き入れる。
室内空間のデザインには打ち放しコンクリートの使用を徹底し、部分的に暗色の木質材やその他の自然素材を用いたことで、素材感とディテールがインテリアを構成することで、コンクリートの堅牢さと布の様な軽やかな形態で安心感と開放感を兼ね備えた住まいを実現した。

(森村政悦)



■浄心の家

所在地 愛知県名古屋市浄心
施工 中村工業
敷地面積 145.00㎡
建築面積 116.20㎡
延床面積 90.81㎡
構造規模 RC造
竣工 2013年12月
撮影 森村政悦

デッキのある中庭を中心に風景を楽しむ

吉村篤一 + 建築環境研究所



円通寺へ通じるなだらかな山並みに囲われた、まだ畑が残っている地域のなかで、このような風景を楽しめるデッキのある中庭を中心とした平面構成となっている。
印象的な二つの切妻屋根が並んだ杉板張りの家で、リビングダイニングの上部吹抜部分につながった2階フリースペース（写真上）が一体感のある空間となっている。（吉村篤一）

■幡枝の家

所在地	京都市左京区
施工	大登建設
建築面積	88.64㎡
延床面積	137.94㎡
構造規模	W造、地上2階
竣工	2011年5月
撮影	大島勝寛

木陰の下に広がる地域空間

新居照和&ヴァサンティ 新居建築研究所



高度成長期に徳島の工業地帯となり、現在人口が増える数少ない町の洋菓子製造販売店である。地域素材の魅力を感じさせ、町づくりになる環境を育むことを意識する。

地場杉製材の平角柱が連続する架構が、ブティック・販売部門とラボ・製造部門の空間をつくる。二棟のヴォリュームに1.6mの軒を出す。南と西面の二階軒先空間に従業員が憩うテラスを設ける。東と北面の軒と中庭の木造フレームが三層の水平ラインをつくり、四本の大樹を植えた広場を囲む。広場の周りの樹木と街路樹が一体となって、緑の歩道空間にしていく。広場空間が街路とつながり、公私あいまの緑の空間になって、地域に開く。

樹木を建築として、天と大地を結ぶ軸にする。木造建築の環境形成の中心性を、建物でなく樹木に据える。自然の恵みを感じる場を建築がつくると考えた。

(新居照和)

■パティスリー オウ・ポワヴル patisserie Au Poivre

所在地 徳島県板野郡北島町

施工 アズマ建設

敷地面積 1946.12㎡

建築面積 357.30㎡

延床面積 463.91㎡

構造規模 W造、地上2階

竣工 2010年6月

撮影 北田英治

回遊する住まい

岸 一 アトリエジグソー



本住宅は長野県松本市に位置する建替え住宅です。
古くから形成された住環境に建つこの住まいは周辺環境のイメージリーダーとなりうる住宅です。
回遊性をテーマとしており、敷地内の回遊性は防犯・防災・落雪に配慮されています。
又生活動線の回遊性は快適性・心地良さを実現しています。
最後に家事動線の回遊性は合理性と機能性を実現しています。
この3つの回遊性を実現したこの住宅はまさに理想の住まいと言えます。
(岸 一)



■松本の家

所在地 長野県松本市
施工 第一工務店
建築面積 114.27㎡
延床面積 181.35㎡
構造規模 在来W造
竣工 2013年11月
撮影 LocalSwitch 阿部宣彦

20年めのリニューアル

中尾勝悦 中尾総合建築設計事務所



守口市内で一番古いデイサービス施設のリニューアルである。当時、先進的な施設であったが、近年、同サービス施設が多く普及した為、他施設との差別化を図るべく、新しくリハビリデイとしてフィットネスの機能を兼ね備える事とした。

機能の追加と同時にサービスの見直しも行われ、1階の大浴場を取りやめ、2階を個浴に改築し、動線の短縮を図った。また、内装も一新させ、新しく生まれ変わった施設を目指した。

1階は事務所・会議室・応接スペースがあり、重厚で落ち着いた空間とするため、茶色を基調にしている。

2階は従来のデイサービスの機能を残し、利用者にとって温かみのある空間とするため、木目調の壁紙・家具を多く用いた。

3階はフィットネスクラブのようなリハビリデイサービスを意図した。赤・黄・緑・青等、ポップな色遣いとし、空間全体が活動的となるようにした。

プレスリーを愛し、ビートルズを体感した世代が、楽しく明るい老後を迎える事を願います。

(中尾勝悦+上田夏子)



■もりぐち在宅サービス供給ステーション

用 途 老人福祉施設（デイサービス）

所 在 地 大阪府守口市八雲西町

施 工 森長工務店

敷地面積 728.46㎡

建築面積 285.70㎡

延床面積 773.57㎡

構造規模 RC造、地上3階

竣 工 2013年6月

撮 影 スタジオ ライトクロス 安川

都市生活の自由

早崎伸一 + 平居直 + 平尾和洋 ヴィズ建築設計事務所



「都市の空気は自由にする」とは中世ヨーロッパの農奴解放を指した言葉であるが、都市生活の魅力の表現と読み替えてもうまく言い当てていると思う。都市とは多種多様なものが同居し、出会う場所である。都市生活における自由とは、異質なものを受容し、また受容される時に感じるのだと思う。

都市的な場所を構成する要素として建築を考える時、私はこの自由と言う言葉が思い浮かぶ。この集合住宅は水面に浮かぶ船のように緑地の中に浮かび、草文のあるツタによる地被がプライバシーを担保する役割を果たしている。例えば水上の集落や船上での生活が、その脅威から身を守りつつも水と親しい関係にあるように、ここでの生活が都市的な環境から守られつつ、同時にそこに「属している」感覚がもたらされるものであって欲しいと思う。それが都市に生きる自由の感覚につながっていくのではないかと思うからだ。

(早崎伸一)

■FREE PORT浜御殿

所在地 宮崎県延岡市

施工 西本建設

建築面積 321.60㎡

延床面積 639.60㎡

構造規模 W造、地上2階、3棟

竣工 2014年2月

撮影 スタジオ マーシュ 沼口紀男

生谷家住宅主屋—現代の「会所」に蘇生

長瀬博一 (有)長瀬建築研究所



生谷家は西陣の一角に在り、室町時代には御家人であった。現家屋は江戸末から明治十年頃の間に建替えられた石場立ての大型京町家である。延1年2ヶ月で外部、内部を全面改修。多くの垂直構面の補強や新設、各階と小屋組水平構面補強、アルミサッシは全て木製とし土壁塗替と設備整備を施し階段一基を通庭に新設。外部改修後、国の登録文化財に登録され、更に京都市景観重要建造物、並びに京都市歴史的風致形成建造物に指定された。全面改修後、住宅の迎賓機能と俳句、謡、平家琵琶の会や建築見学会等、様々の集いが持たれ現代の「会所」として甦った。

建築上の特徴として①敷地は角地に在り外構部は北庭、奥庭が繋がり、通例の京町家の如き隣家との連担性はない②全室開口部を有し多くの京町家の如き行燈室がない③座敷廻り等に杉丸太が多用され数寄屋の技が混在④南側の平家建借家と一体構造等である。

(長瀬博一)

■生谷家住宅主屋改修工事

所在地 京都府京都市上京区
施工 梅原工務店
建築面積 151㎡
延床面積 206.9㎡
構造規模 W造地上2階、一部平屋、瓦葺
竣工 2013年3月
撮影 大島勝寛

地形のリニューアル

田中啓文 田中啓文総合建築研究所



私鉄沿線の駅近く、閑静な住宅地にある60坪の敷地。小さな集合住宅としての立地は申し分ないが、起伏の大きい地形のせいで古い石積みの擁壁のある宅地地盤が、道路面から3m以上高い。この地形を再構築するべく建物自体が擁壁を兼ねる形で、道路レベルに駐輪場と管理事務室を配してこのレベル差を吸収、ゆったりとした階段で元の宅盤レベルまで上げ、そこから3層、12戸の単身向け住戸を設けました。

外観は、落ち着いた色調の割り肌素材で統一、建物のプロポーションやディテールを吟味し、建物が周辺環境から遊離することなく、この場所に相応しい新鮮な風景が生まれるよう意図しました。

内部は共用部、専用部共にコンクリート打放しを多用、住戸内は無垢のカバ材フローリング、枠なしの引戸などを簡素な納まりで用いて、素朴でシンプルなものとしています。

住戸階は、1つの階段室に4戸の住戸が張り付く形の、きわめて効率のよいプランながら、シースルーの軽快な鉄骨階段が、面積以上の広がりを感じさせてくれます。

(田中啓文)



RE-SOUL nara-tomio

所在地 奈良県奈良市

敷地面積 198,44㎡

建築面積 136,81㎡

延床面積 436,21㎡

構造規模 RC造 地上3階 地下1階

竣工 2013年3月

撮影 砂川敏夫

ガンダムの家

瀬戸本淳 瀬戸本淳建築研究室



南から見る全景



1階の和室



2階のミニコンサートホールの様子

ほぼ同年のクライアントの趣味のひとつが、スポーツカーのコレクションでした。

現在住んでいる本宅に、そんな車がいっぱいになったのと、お友達との交流の場が必要になったため、近くに土地を求めてウィークエンドハウスとしてこの建物を建てることになりました。間口が比較的狭いのですが、奥行きのあるこの敷地は、南側正面の眺望がとても良く、空に開かれた視界と光を軸に建物を構成していくことが自然な流れでした。

わかりやすい機能性と無駄のない、しかし心を込めたデザインで大人の童話のような建物になりました。車のデザインと呼応した重量感のある部分と、軽やかな表現に対して、前を通る子供たちが口々に「あ！ガンダムの家だ！」と言うものですから、この名をつけました。

(瀬戸本淳)

■M氏別邸

所在地 芦屋市東山町

施工 今津建設

敷地面積 246.08㎡

建築面積 147.37㎡

延床面積 409.96㎡

構造規模 RC造

地下1階 地上2階

竣工 2012年

撮影 日野和恵

奈良県の近代化遺産 —近代化遺産総合調査報告—

矢谷 早

奈良県教育委員会事務局文化財保存課主査

調査の背景

■奈良県における現状と近代化遺産

奈良県内には国・県・市町村の指定を受けている文化財建造物が数多くある。中でも国宝建造物の件数は全国最多で、多くは古代から中世の建物で占められ、明治以降の指定建造物はわずかである。

一方、近代化遺産とは、幕末から第2次世界大戦終末頃までの間に建設された、洋風意匠の建築物や、産業・交通・土木等に関連する建築物・構造物である。最近では、「明治日本の産業革命遺産」を世界遺産に推薦する動きもあり、注目されている分野のひとつとされる。

奈良県教育委員会文化財保存課では平成23～25年度の3ヵ年をかけ、近代化遺産総合調査を実施した。本稿では、この調査の成果の一部について、建築分野を中心に報告したい。

調査の結果

■奈良県の近代化の概要

奈良県の近代化は、北中部と南部で全く異なる様相をみせる。古代から経済的に発展してきた北中部、特に平城京の外京は、有名名刹寺が集中し、古代から官により発展してきた土地であったが、近代にも官による寺院跡地の活用やインフラ整備等で、さらなる発展をした。

一方、南部は、近世より林業振興がおこなわれ、京阪神地域の近代化による資材需要の高まりを背景に、木材供給を如何に担保するかが問題となった。そのため搬出用の鉄道整備や、取引のための銀行開設、傾斜地を活かした電力施設の開設など、民間主導による近代化が推し進められた。

本調査では、上記の様な奈良県の近代化を体现する建築物・構造物を把握したが、今回の報告では、現在も来訪者の多い奈良公園周辺にスポットを当てる。そのうち、近代に登場した新たな産業であるホテルのうち代表格といえる「奈良ホテル」を取り上げる。

■奈良公園周辺の近代化

明治期の奈良公園一帯は、明治元年の神仏判然令などにより、この一帯に大きな土地を占めていた興福寺の子院が激減し、その土地を再開発することによって変貌した。

明治13年には奈良公園が開設され、明治27年には帝国奈良博物館（重文）が竣工した。博物館の洋風意匠が奈良の風致にそぐわないと不評なことから、その後に建築された県庁舎や県立図書館、物産陳列所、公会堂は独特の和洋折衷様式が用いられた。

■クラシックな優雅さ漂う「奈良ホテル」

奈良ホテルは、興福寺南方に立地する大規模な木造2階建の「クラシックホテル」である。

明治39年、奈良市、関西鉄道、都ホテル社主西村仁兵衛の三者が、それまで和風の旅館しかなかった奈良に洋式ホテル開設の覚書を交わしたことに始まり、明治42年に開業した。

建物の設計は辰野金吾と片岡安による辰野片岡建築事務所、工事監理は神戸市で設計事務所を開設していた河合浩蔵が行った。開業時の客室数は52室で、一部を除き客室に風呂便所の設備はなく共同であった。また、客室を続き間として使えるように界壁にドアを設けているのも特徴である。



写真1 奈良ホテル 正面

■洋風と和風の巧みな融合

奈良ホテルは、建物の正面に車寄を突出したエントランスを設け、1階にロビーやフロントのほか談話室、読書室、喫煙室などの共用部諸室を置く。一方1階の東側および2階に客室を配す。なお、客室部西寄りの南側に別棟の遊戯室、酒場が取り付けいていたが、後に大和文華館に移築され、保存・活用されている。

外観は、柱上に舟肘木を載せ桁を受ける簡明な構成とし、反りのある垂木で深い軒を支えるが、出隅部をよく見ると、舟肘木や桁を留め納め、外に見える柱や桁、舟肘木等の化粧材は見掛りのみの貼材とわかる。構造材と化粧材とを分離する手法は、よく洋風建築でみられるが、ここでも洋風建築の構造と和風の意匠の巧みな融合を観ることができる。また、小屋組もクイーンポストトラスやキングポストトラスを用い、要所に軒を支える枯木を入れている。



写真2 奈良ホテル ロビー

内部は、客室や食堂、廊下も天井が高く、窓は上下窓とし、洋室のプロポーションを採用している。一方内装は、真壁造で柱をあらわにして、長押を巡らせ、格天井や棹縁天井、箒欄間など和風の要素を多用している。中でもマントルピースの装飾は鳥居形や前机、経机、竹の節欄間など和風のモチーフを色濃く取入れ、外国人宿泊客を意識したものと見られる。



写真3 奈良ホテル 小宴会場

今後の保存・活用に期待

今回の調査は、県内のどこに、どういったものが、どんな状態で残されているのかを把握したに過ぎない。今後、各分野の研究者の詳細な調査や比較検証によって、それぞれの建築や構造物の内容が掘り下げられ、さらに価値付けされていくことになる。そのために、多くの方に県内の近代化遺産を知ってもらう必要がある。

近代化遺産を保存するには、使われ続けることが必要となるため、登録文化財制度等を利用した保存と活用の進展を期待したい。

(やたに さき)

●矢谷 早

1982年生まれ。奈良女子大学大学院修了。2009年奈良県入庁。

トッランナー変圧器 第二次判断基準

齋藤博一

三菱電機株式会社 名古屋製作所
配電制御製造部 変圧器設計課

トッランナー変圧器

省エネ法では、エネルギー消費効率（変圧器の場合、基準負荷率における全損失[W]）の向上が必要とされる機器を特定機器に指定している。現在商品化されている製品のうち、最も優れている製品の省エネ性能を基本に、将来の技術進歩を加味して算定するトッランナー方式により、エネルギー消費効率の基準値を規定し、その基準値を満足する製品をトッランナー変圧器としている。

今回は基準改正により、2014年4月より実施される第二次判断基準について紹介する。

第二次判断基準概要

変圧器としてのトッランナー制度はすでに油入変圧器で2006年度、モールド変圧器で2007年度より実施しており、今回が2回目であることから、第二次判断基準となる。

第二次判断基準に対応した変圧器はそれ以前のトッランナー変圧器と区別するため、トッランナー変圧器2014と表示している。（図1）

対象範囲は油入変圧器（図2）とモールド変圧器（図3）の中で、高圧から低圧に変換する変圧器が対象である。（表1）



図1 トッランナー変圧器2014表示



図2 トッランナー油入変圧器2014



図3 トッランナーモールド変圧器2014

表1 対象範囲

適用範囲	
機種	油入変圧器、モールド変圧器
容量	単相10～500kVA 三相20～2000kVA
電圧	高圧 6kV、3kV、6/3kV共用 低圧 100～600V
対象外機種	
ガス絶縁変圧器、H種乾式変圧器、スコット結線変圧器、柱上変圧器、モールド電動機用変圧器、風冷式または水冷式変圧器、3巻線以上の多巻線変圧器	

実施時期は油入変圧器、モールド変圧器共に2014年度（4月1日）からとなっている。

第二次判断基準に対応した主な規格は次の通りである。

(1) 油入変圧器

①JIS C 4304：2013

配電用6kV油入変圧器

②JEM 1500-2012

特定機器対応の油入変圧器における基準エネルギー消費効率

(2) モールド変圧器

①JIS C 4306：2013

配電用6kVモールド変圧器

②JEM 1501-2012

特定機器対応のモールド変圧器における基準エネルギー消費効率

変圧器の目標基準値は基準負荷率における電力損失値（基準エネルギー消費効率）であり、次のように決められている。

(1) 基準負荷率

①定格容量500kVA以下：40%

②定格容量500kVA超過：50%

(2) 目標基準値（表2）

表2 目標基準値

区分			基準エネルギー消費効率の目標基準値算定式
機種	相数	定格周波数	
油入	単相	50Hz	500kVA以下 $E=11.2 \times (kVA)^{0.732}$
		60Hz	500kVA以下 $E=11.1 \times (kVA)^{0.725}$
	三相	50Hz	500kVA以下 $E=16.6 \times (kVA)^{0.696}$
			500kVA超 $E=11.1 \times (kVA)^{0.809}$
		60Hz	500kVA以下 $E=17.3 \times (kVA)^{0.678}$
			500kVA超 $E=11.7 \times (kVA)^{0.790}$
モールド	単相	50Hz	500kVA以下 $E=16.9 \times (kVA)^{0.674}$
		60Hz	500kVA以下 $E=15.2 \times (kVA)^{0.691}$
	三相	50Hz	500kVA以下 $E=23.9 \times (kVA)^{0.659}$
			500kVA超 $E=22.7 \times (kVA)^{0.718}$
		60Hz	500kVA以下 $E=22.3 \times (kVA)^{0.674}$
			500kVA超 $E=19.4 \times (kVA)^{0.737}$

上記目標値はトッランナー変圧器の中でも汎用性の高い標準仕様で適用される基準値であり、異電圧異結線など、標準と異なる仕様については、標準仕様として、油入変圧器は上記算定式に1.1倍、モールド変圧器は1.05倍したものが基準値となる。

標準仕様と標準仕様の区分は次の通りである。

(1) 標準仕様

高圧側電圧：6kV

低圧側電圧および結線は表3による。

表3 標準仕様の低圧側電圧と結線

相数	容量	低圧側電圧	結線
単相	10～500kVA	210-105V	単三専用
三相	20～500kVA	210V	Yy0
	75～500kVA	210V	Yd1
	750～1000kVA	210V	Yd1, Dd0
	1500～2000kVA	210V	Dd0
		420V(50Hz) 440V(60Hz)	Dyn11

(2) 標準仕様

高圧側電圧：6kV、3kV、6/3kV

低圧側電圧：100以上600V以下の

(1) 記載電圧以外

現行基準からの変更点

規格による変更点は次の通りである。

(1) 判断基準（目標基準値）の見直し

基準エネルギー消費効率が現行基準から最大約30%（注1）、トッランナー化直前の旧JIS品変圧器（注2）に対しては約40%（注3）の改善となる。

(2) 海外規格との整合

油入変圧器において耐熱紙使用により温度上昇限度を次の通りに変更。

①油：50K→60K（耐熱紙使用の場合）

②巻線：55K→65K（耐熱紙使用の場合）
これにより、運用上、温度監視、管理に影響する場合がある。

(3) 保守性向上

油入変圧器において、排油装置、温度計の標準付属範囲が拡大。

150kVA以上→75kVA以上

この他にも規格で規定されていない外形諸元（外形寸法、総質量など）など現行品と異なる部分がある。

これからの変圧器

変圧器自体はもともと損失の少ない機器であるが、取り扱う電力容量が大きいため、数%の改善であっても非常に大きな省エネ効果に繋がる。変圧器の省エネ化については、近年の省エネ志向の高まりもあり、今回の基準改正に見られるように、今後ますます推進されていくことが予想される。

社会の動向を踏まえ、当社は第二次判断基準に対応したトッランナー変圧器Rシリーズを発売する他、電力損失をさらに低減した省エネタイプの変圧器として、省エネ基準達成率（注4）約120%のスーパー高効率油入変圧器EX-βシリーズ、省エネ基準達成率約140%のスーパー高効率モールド変圧器EX-αシリーズをラインアップし、今後も顧客の幅広いニーズに対応していきたいと考えている。

●齋藤博一

2001年：三菱電機株式会社入社

（注1）現行基準値と新基準値の比較

（注2）JIS C 4304：1999, JIS C 4306：1999

（注3）旧JIS品の実績と比較

（特定機器制度に規定された基準負荷率での比較）

（注4）変圧器の省エネ基準達成率はエネルギー消費効率の[基準値/実力値×100]で表される。

森下 修

—OSAMU MORISHITA—



「ステラ御幸町」にて

経歴
 1962年 生まれ
 1987年 早稲田大学大学院卒業、竹中工務店入社
 2000年 森下建築総研設立
 2000年～2010年 早稲田・大阪藝大・大阪大・関大で非常勤講師

受賞歴
 1987年 NIAE主催”1987 William Van Alen Memorial Fellowship Competition”入賞
 1999年 淡路夢舞台国際石彫コンクール 入選
 2002年 住まいの設計コンテスト 入選
 2003年 あたたかな住空間デザインコンペティション 入選
 2003年 住まいの設計コンテスト 入選
 2003年 カナダグリーンデザインコンペ 入選
 2003年 兵庫県人間サイズのまちづくり賞 入賞
 2004年 木質空間デザインコンテスト 入選
 2005年 「まちなみ住宅」百選 入賞
 2006年 Nisscoインバンドデザインコンテスト 優秀賞
 2006年 (社)日本建築家協会近畿支部 第1回建築家新人賞 受賞 [舟の家]
 2007年 住まいの設計コンテスト 優秀賞
 2007年 日本建築学会作品選集 掲載 [南あわじ市営四季の丘団地]
 2009年 住まいの設計コンテスト 優秀賞
 2009年 (社)日本建築家協会近畿支部 第10回建築家奨励賞
 2010年 日本建築学会作品選集 掲載 [ステラ御幸町]
 2012年 愛知まちなみ建築賞 受賞
 2012年 World Architecture Festival 2012 Future Projects Mixed use部門 最優秀賞
 2013年 第11回環境・設備デザイン賞 建築・設備統合デザイン部門 入賞
 2013年 第45回中部建築賞一般部門 入選
 2013年 MIPIM Architectural Review Future Projects Awards 2013 Mixed use部門 最優秀賞

聞き手 中村圭祐 (竹中工務店)
 写真撮影 河合止揚

着実に作品をつくっていく

「森下建築総研」という事務所名を聞いた時から気になっていたことが、今回のインタビューを通じてわかった。

個人名を掲げた設計事務所はその作品が、その代表者のやりたい建築や興味のあることに偏りがちである。強い作品性が生まれる反面、その作品性が社会に認められない限り継続的に設計を続けることが出来るかもわからない。また事務所内の構成は先生とスタッフという両端に分かれて、スタッフは先生のもとに修行に来てやがて独立して設計事務所を巣立っていくというのが現状だろう。

森下氏の事務所は個人名の設計事務所でありながら、組織事務所の要素も兼ね備えていて、常に「着実に作品をつくっていく」ことを念頭に運営されているように思う。生み出される作品は代表者の思考により方向性が導かれ、そのプロジェクトの特性毎に適正な解を見出し具現化することに重きがおかれる。森下建築総研のクオリティを確保しながら周辺地域やクライアントに対し様々な作品を提供している。そして大規模建築を実現したい思いなど小規模事務所ではなかなか考えがたい発想があるのは、ゼネコン設計部に勤めた経験や、社会に貢献する建築をつくりたいという思いがスケールにつながっており、建築の進化はその本質から考えていかないと、変化が激しい現在や未来の環境の中では意味をなさないという代表者の感覚の表れであろう。また設計活動の継続性については次世代に引き継ぐという姿勢や、仕事の波の狭間に所員に長期休暇取得を促し、日常の業として仕事ができる環境を整えるなど、いわゆる個人名の設計事務所とはさまざまな面での違いを感じた。

森下氏は大学院卒業後、ゼネコン設計部で大規模オフィスビル等の設計に関わることになる。その内の一つのビルは当時の会長、故竹中錬一氏自らが進めていたプロジェクトで森下氏にとってとても意味のあるプロジェクトであった。主担当者として設計をまとめ、着工して地下階まで躯体が出来上がった段階で景気のリセッションを迎えた。施工段階であるにも関わらず建築メディアにも紹介され注目されるプロジェクトであったが、その後10年ほど経済状況が改善されるまで工事は延期された。最終的にこの建築は独立後、当時の地下躯体の上に姿を変えて構築されるが、基本的な骨格は当時既に確立されており、長い設計期間の中で1日1案作成して案を蓄えていたことが裏付けとなっている。現在もプロジェクトを遂行しながら将来の糧となるよう海外の建築イベントやフェスティバルに応募して、国内だけではなく海外の投資家や発注者の目に触れる機会を自ら創りこんでいる。2000年に37歳で独立し、現設計事務所を設立、現在は住宅から事務所、研究所、生産・商業施設、集合住宅まで幅広いプロジェクトに携わっている。

「着実に作品をつくっていく」には創出される建築が社会から得る信頼が必要で、建築を根本から見直し、用のある革新を導くことをモットーにしながら、それに一番大切なのは仕事の多少にかかわらず事務所を引っ張る自身のモチベーションを常に高く保ち続けることだと最後に語っていただいた。

大阪聖母女学院

酒井 一光

再読

関西近代建築
モダンエイジの建築遺産

■高燥な土地を求めて

京阪電車香里園駅から南東に徒歩10分ほどの小高き丘の上に、聖母女学院のキャンパスは広がる。大阪方面を一望できる、高台の理想的な教育環境だ。そこには、レーモンドの設計した清楚にして広々とした学舎がある。校地からもその伝統が伝わってくる雰囲気だが、学院の創立時からこの場所にキャンパスがあったわけではない。

聖母女学院の創立は大正12年（1923）のことで、90年を超える歴史を有する。しかし、関西のキリスト教系のいくつかの学校が、大阪・川口に居留地があった明治時代前半に開学したことに比べると、比較的新しいスタートといえる。

創立に先立つ大正10年、メール・マリー・クロチルド・リュチニエ（以下、レベランド・メール）をはじめとするフランスのヌヴェール愛徳修道院のメール（シスター）7名が、マルセイユ港から神戸港経由で大阪を訪れ、玉造にヌヴェール会修道院を設立した。やがて、大正12年に学院の設立認可があり、同年に玉造に開校した。しかし、玉造の校舎は一時的なもので、レベランド・メールは校地を求めて大阪近郊の土地を探し続けた。阪急沿線の曾根や蛸池なども候補になったが、広く高燥な土地という理想にかなう条件を満たす場所は、容易には見つからなかった。そうした折、京阪電鉄の西村正太郎の紹介で、同社がグラウンドとして使っていた香里園の土地を訪問した。その時の様子を、レベランド・メールに同行した河野千代は次のように回想する¹⁾。

この丘の上から眺めた景色はひろびろし

て美しかった。はるか西の方には六甲の連山をながめ、近くには淀川が帯のように流れていて、見わたす限り青々とした田圃であった。南の方には生駒の山々が眺められ、夕陽の美しさは格別であった。レベランド・メールは、これこそ天主様が聖母のために定められるご摂理の地と感じられ、フランスの本部の総長様レベランド・メール・マリ・テレーズ・ボルドナブに連絡されて、遂に「香里」と決定されたのである。

こうして選ばれた校地に昭和6年（1931）3月12日、レベランド・メールにより鉄入りが行われ、鉄骨鉄筋コンクリート造による校舎建設工事が始まった。

■設計者・レーモンド

新校舎の設計にあたったのは、アントニン・レーモンド（1888-1976）であった。レーモンドは、東京の帝国ホテル設計のため、フランク・ロイド・ライトとともに大正8年（1919）来日した。以後も日本に住み、建築事務所を開設して多忙な設計活動にあたった。聖母女学院の仕事に取りくむ以前、星商業学校、後藤新平邸、聖心女子学院、小林聖心女子学院、東京女子大学キャンパスなどの建築を完成、あるいは着手していた。聖母女学院には、レーモンドの日本での仕事が軌道に乗ってきた時期から、戦後の再来日以降にわたる一連の校舎群が残されている。

河野千代は、香里での最初の校舎建設時の様子を、次のようにふりかえる²⁾。

設計をされたのは、アントニン・レーモンド氏で、非常に優れた頭の持ち主で



①外観 平成25年11月 撮影：酒井一光（以下※印）

所在地／大阪府寝屋川市美井町一八番一〇号
設計／レーモンド建築事務所
施工／竹中工務店
竣工／昭和7年（1932）
構造／鉄骨鉄筋コンクリート造
規模／地上3階（一部地下1階）
種別／学校建築



②

②外観

③レーモンドによる当初計画図

(『聖母 創立50周年記念誌』より、以下
*印)

④1階平面図

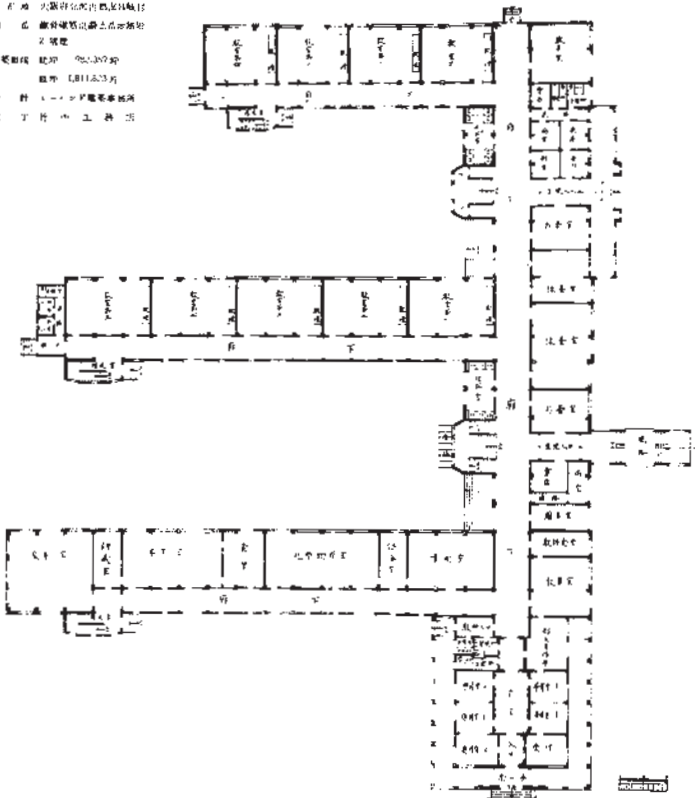
⑤高等女学校 講堂・雨天体操場*

⑥小学校 雨天体操場 北東側外観*



③*

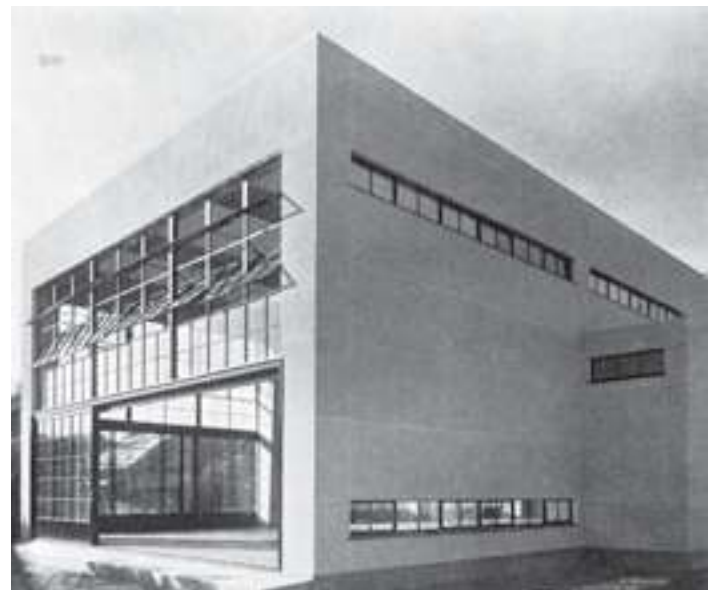
所在地 大分県大分市西區北山
構造 鉄骨煉瓦造地上5階建
敷地面積 約2,000坪
竣工 昭和16年5月
設計 レーモンド建築事務所
監工 井上正樹氏



④



⑤*



⑥*



⑦



⑨



⑧



⑩



⑪



⑫

- ⑦玄関ホール※
- ⑧1階教室棟廊下※
- ⑨小学校 雨天体操場南側
外観※
- ⑩1階中央廊下※
- ⑪小学校 雨天体操場内部※
- ⑫聖堂内部※
- ⑬聖堂外観※
- ⑭教室 (B105教室) ※
- ⑮2階図書室前装飾格子※
- ⑯中庭※



⑭



⑬



⑮



⑯

あった。フランス語も英語も流暢で、レベランド・メールと直接お話ができたことは何よりであった。レーモンド氏は時々東京からこられたが、ずっと現場におられて、レーモンド氏にすべてを連絡されたのは、実直な高木氏（引用者註：現場監督）で、常にレベランド・メールとは英語で細い所まで相談された。

キリスト教系学校をすでにいくつか手がけ、施主側と直接対話できるレーモンドは、設計者として最適人选であった。

■校舎の構成

北側の正門の先に、校舎の玄関がある。そこから一直線に廊下が伸び、現在は廊下の東側に5棟の教室棟が枝分かれしている。また、西側には雨天体操場と屋外運動場、プールなどがある。校舎の顔ともいえるのが、正面にアーチが連なる玄関であろう。昭和7年(1932)に竣工したのが、この玄関とそれに続く中央の廊下と手前の3棟であった。

玄関棟の正面と東西面の3面にめぐるアーチの内側は、ヴェランダになっている。完全なモダニズムというよりは、スパニッシュ建築の雰囲気を感じさせる、女学校らしい優しいデザインだ。

少し控えめでこじんまりとした玄関を入ると、はるか奥まで一直線にのびる廊下の長ささと幅の広さに圧倒される。学校建築で、これほどのスケールの廊下は他にみたことがない。現在は、この校舎に小学校から高等学校まで、すべてが同居している。玄関に近い側が女子高等学校、中ほどが女子中学校、そして一番奥が共学の小学校となっている。そう考えると、この廊下のスケール感もうなずけるが、ここでは巨大さゆえの殺伐とした雰囲気はなく、むしろ暖かみさえ感じる。小学生から高校生までが、互いのテリトリーや休憩時間の違いはあるが、この廊下で日々顔を合わせている。子どもたちの、成長の軸線のような働きをしている。

もっとも、昭和7年時点で完成していたのは、手前側のおよそ3/5にあたる部分である。それでも、中央廊下は幅広く、当時の子供たちの体格の平均が今よりひとまわりは小さかったであろうことを考えると、そのスケールは圧倒的なものであっただろう。

廊下とともに、教室のつくりも当時の日本の標準的な学校建築とは異なっていた。天井高による容積の大きさが、当時の標準的な日本の学校よりも大きく感じられる。また、廊下と教室の間はやや閉鎖的で、教室の出入口の扉もガラスのない引き戸で、教室ごとのプライバシーを高めている印象を受ける。それ

でいて、中庭に面した窓が大きいと、暗いという印象はなく、むしろ開放的でさえある。

ここで思い起こされるのが、レーモンドの師であるライトが、遠藤新とともに東京で設計した自由学園明日館である。両建築は、生徒の就学年齢の違いがあったのかもしれないが、自由学園明日館では当時の生徒に合わせてすべてが小さな身体寸法をもとに作られている印象がある。それに対し、レーモンドの大阪聖母女学院は、面積・容積とも、圧倒的に余裕ある空間構成を感じさせる。立地条件、時代差など、様々な条件を考慮する必要があるが、師弟の空間構成に対する違いがあらわれているようで興味深い。

■モダニズムの名作・雨天体操場

その後も、学院の建物はレーモンドの設計により、徐々に整備されていった。昭和13年(1938)には、1月に小学校の雨天体操場が、3月に高等女学校の講堂・雨天体操場が竣工した。

小学校の雨天体操場は、小学校教室棟の先端に設けられ、平屋建であるが2層分の高さを有する。東・南面が一面のガラス張りであり、たいへん明るい。北面吹抜け上部にはハイサイド・ライトが取られ、様々な通風・採光が考慮されている。しかも、内部はコンクリート打放しで、あらかじめ竣工年を知らなければ戦後の建築になってしまうほど、きわめて先進的な意匠である。

高等女学校講堂・雨天体操場は、校舎と地下通路でつながり、雨天での移動を容易にしていた。鉄筋コンクリート造で、1階が小学校と同じく南面が総ガラス張りとなった雨天体操場で、上階が講堂になっていた。機能性と構造美を兼ね備え、まさに戦前期モダニズムの傑作と断言していいだろう。レーモンド自身、「その自由度と完全な技術の点で、その頃ではきわめて優れた現代建築の一つである」³⁾と述べている。高等女学校講堂・雨天体操場は同じ位置で建て替えられ、現在はベルナデッタホール（体育館）となったが、かつての地下通路だけは残っている。

ところで戦後、レーモンド建築設計事務所にも勤務した三沢浩は「(引用者註：当初の校舎を)スパニッシュにしてしまった分だけ、反動的に極端な現代性をぶつけてしまったのではないか」⁴⁾と推測している。確かに、現存する小学校雨天体操場は、校舎全体のやさしさよりも、ストイックで開放的、明快な印象であるが、全体として浮いている感じはない。施主の意見や施設の用途にあわせてスタイルをかえながらも、連続性を保持している。

■静謐な光あふれる祈りの場

戦後も、昭和29年(1954)に校舎増築などが行われ、同37年には聖堂(おみどう)が竣工した。「城壁を思わせる荘厳なチャペル」⁵⁾と形容された聖堂は、校舎南方の2階部分にある。

外観は幾何学的なブロックを組み合わせたような造形で、レーモンドの戦前の名作・東京女子大学チャペルを思わせる。屋上の十字架架をいただく塔の形や、内部に色ガラスを通した光がさしこむ様子は、同じくレーモンド設計の聖ジョセフ教会や聖パトリック教会を思わせる。正面の祭壇の奥には、象徴的に十字架がかかるシンプルな構成だ。両脇の一对の円柱が空間を規定し、十字架とともに視線を上へと導く。カトリックの聖堂としては簡潔な、だがそれゆえ精神性の高い空間といえる。

■忘れがたい学びの場

以上、聖母女学院の主要な校舎をみてきたが、このほかにも見るべき点は多く、ところどころに印象的な場面が設けられている。例えばそれは、2階図書室前の装飾格子であったり、教室棟同志の間に生まれる中庭だったりする。装飾格子は、学院の門扉も含めて戦時中の金属供出で多くが失われてしまったというが、当初はより華やかな雰囲気であったであろう。中庭には、大きな木を囲むようにしてベンチが置かれている。そして、ベルナデッタホールにいたる地下通路や、校舎前から見わたす大阪平野の情景など、統一感の中に多様な空間体験と居心地よい場所が用意されている。

校舎全体のスケール感といい、忘れがたい空間といい、この学院には生涯印象に残るであろう場所がたくさんある。そして、レーモンドの当初の理念が増改築を経ながらも生き続けていることに、改めて建築の持つ力とそれを維持し続けてきた人びとの愛着に思いを馳せずにはいられない。校舎がひとを育て、ひとが校舎を守り伝えている好例といえよう。

註

- 1) 河野千代「玉造から香里まで メール方のご苦労と、ご恩になった多くの方々を偲んで」『聖母創立50周年記念誌』(学校法人聖母女学院、昭和48年)
- 2) 1)と同じ。
- 3) 『自伝アントニン・レーモンド』(鹿島研究所出版会、昭和45年)
- 4) 三沢浩『アントニン・レーモンドの建築』(鹿島出版会、平成10年)
- 5) 小野よし「短期大学開学」『聖母 創立50周年記念誌』(前掲)

(さかい かずみつ／大阪歴史博物館学芸員)

Information

①名画のあった場所 ～酒井抱一、小出楢重からデルヴォー、 マグリットまで～

私たちは絵画などの美術作品を額縁に入った状態で美術館の展示室で鑑賞し、この状態を当然のことのように受け入れている。しかし美術館に収蔵され展示されている作品の中には、元は建物の中に取り込まれていたものや、もしくは生活の中に密着していたが、元あった場所から切り離されているものがある。本展では、当館のコレクションを中心とした約60点により、日本家屋に設置されていた軸や屏風、西洋の住宅や施設に壁画として使用されていた絵画、身近なところで用いられた工芸品などを、元の状態をできるだけ再現、もしくはそれが分かるように展示する。

期 間 4月12日(土)～6月1日(日)
10:00～17:00 (入場は16:30まで)
休館日 月曜日(4/28、5/5は開館、5/7は休館)
会 場 姫路市立美術館
姫路市本町68-25
TEL.079-222-2288
観覧料 一般800円、大高生500円、
小中生200円



小出楢重『壁面装飾のための7枚の静物画』
「野菜」1924年 姫路市立美術館蔵

②コレクションにみる 洋画の時代

洋画とは、西洋画の略称であり、いわゆる油絵を指す。明治期以来、油絵を通して西洋の視覚文化を吸収しようとしてきた画家たちは、独自の風土に根差した日本的油絵を経て、洋画を超えた表現を生み出していく。本展では、当館のコレクション形成史をたどりながら、およそ百年にわたって展開されてきた洋画の歴史を紹介する。

期 間 4月5日(土)～5月25日(日)
10:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日 水曜日
会 場 西宮市大谷記念美術館
西宮市中浜町4-38

TEL.0798-33-0164

観覧料 一般500円、大高生300円、
小中生200円



伊藤慶之助《フォントネ・オウ・ローズ》1929年

③篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN

1950年代後半から今日にいたるまで、写真の第一線を走りつづける篠山紀信(1940-)。本展は、いままで美術館での回顧的な展覧会を拒みつづけてきた篠山が満を持して世に問う、大規模な個展。篠山は「写真力」とは「写真の力が漲った写真」であり、撮られた者も、撮った者も、それを見る人々も、啞然とするような「尊い写真」だと言う。篠山の主戦場である有名人のポートレートを中心に、50年間にわたり撮影されてきた写真の中からとびきり「写真力」のある作品約100点を選び、巨大な展示空間にあわせダイナミックに引き伸ばして、新たなストーリーのもと紹介する。

期 間 4月5日(土)～5月18日(日)
11:00～19:00 (入館は18:30まで)
休館日 会期中無休
会 場 グランフロント大阪 北館ナレッジ
キャピタルB1F イベントラボ
大阪市北区大深町3-1
観覧料 大人1,100円、高大生800円、
小中生500円
問合せ 読売新聞大阪本社 事業本部
TEL.06-6366-2371



篠山紀信《ジョン・レノン オノ・ヨーコ》
1980年

④特別展 ^{かみほとけ} 山の神仏
吉野・熊野・高野

紀伊半島の中央には、標高1,000mをこえる山々が紀伊山地を形成し、太平洋から吹きつける激しい風と日本有数の降水量という厳しい環境のなかで豊かな自然がはぐくまれた。そこでは、古代より「聖なる山」への様々な信仰が生まれ、今に息づいている。その核となるのが、修験道の一大拠点「吉野・大峯」、熊野信仰の中心「熊野三山」、真言密教の根本道場「高野山」。三霊場は、参詣道を通じて有機的な繋がりを保ちつつ、それぞれ独自の文化圏を形成してきた。一方で、日本固有の宗教である神道と中国・朝鮮半島から伝わった仏教が、併存あるいは融合して現在にいたるという大きな共通点を持っている。本展では、三霊場を中心として、篤い信仰をあつめる「神と仏」のすがたを一堂に展観する。

期 間 4月8日(火)～6月1日(日)
9:30～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日 (5/5は開館、5/7は休館)

会 場 大阪市立美術館
大阪市天王寺区茶臼山町1-82
(天王寺公園内)
TEL.06-6771-4874

観覧料 一般1,400円、高大生1,000円、
中学生以下・障がい者手帳等持参無料
(要証明)



国宝「熊野速玉大神坐像」平安時代
熊野速玉大社蔵

⑤阪神・淡路大震災20年展
夢見るフランス絵画 印象派から
エコール・ド・パリへ

ある収集家によるフランス近代絵画のコレクションから名品71点を紹介する。モネ、セザンヌ、シスレーら印象派の画家の描く美しい大地の眺め、ルノワールの描く豪華な室内とそこでくつろぐ人物、モディリアーニ、キスリング、藤田嗣治などエコール・ド・パリの

画家たちの哀歓に満ちた女性たち、ヴラマンク、ユトリロらの描く孤独な路上の風景、ルオーの絵に見る人生の重さ、シャガールの絵から強くたちのぼる人生の喜びなど、このコレクションには、今なおわたしたちがフランスに抱く夢と憧れがつまっている。これらの作品は、さまざまな「豊かさ」でもってわたしたちを魅了する一方、描かれたものの背後にある、見えない、そして言葉にしがたい「感情」にも出会わせてくれる。

期 間 4月12日(土)～6月1日(日)

10:00～18:00
金・土曜日は20:00まで
(入場は閉館30分前まで)

休館日 月曜日 (5/5は開館、5/7は休館)

会 場 兵庫県立美術館
神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
TEL.078-262-0901

観覧料 一般1,300円、大学生900円、
高校生・65歳以上650円、
中学生以下無料



ポール・セザンヌ
《大きな松と赤い大地 (ベルヴュ)》1885年頃

⑥特別展 上方の浮世絵
—大坂・京都の粋と技—

浮世絵というと、江戸で活躍した葛飾北斎や歌川広重、東洲斎写楽などが描いた「江戸絵」が想起されるが、大坂や京都の上方では「上方絵」と称される浮世絵が描かれて人々に愛されていた。上方絵は、18世紀の末に大坂や京都で生まれ、作品の多くが役者絵だった。役者を美化した江戸の作品とは異なり、写実的に描く特徴があるといわれる。また町のにぎわいや名所を描いた作品もあり、上方ならではの美意識が反映されている。海外では上方絵のうち、特に大坂で出された浮世絵版画を「Osaka Prints」と呼び、独自性の高い芸術として評価されている。近年、世界的規模での上方絵の調査研究が飛躍的に進み、それらの成果をもとに、初公開作品15点を含めた国内所蔵品212件を展示し、約40年ぶりとなる上方絵の全体像を通覧する。

期 間 4月19日(土)～6月1日(日)

9:30～17:00 金曜日は20:00まで
(入館は閉館30分前まで)

休館日 火曜日 (4/29、4/30、5/6は開館、
5/7は休館)

会 場 大阪歴史博物館 6階 特別展示室
大阪市中央区大手前4-1-32
TEL.06-6946-5728

観覧料 一般1,000円、高大生700円、
中学生以下無料



「四季風俗図巻」のうち花見 西川祐信 享保年間
(1716～36) 千葉市美術館蔵 (4/19～5/6展示)

⑦特別展 開館20周年記念 上村
松園展 ～画道ひとすじ～

松園の描く女性は姿が美しいだけでなく、凛とした清々しい気品ある内面の美しさまでもが描き出されている。そのひたむきで一途な女性たちの姿は松園自身の姿と重なる。画道ひとすじに生きた松園は、才能におおれることなく、よりよいrippana作品を生みだすために、日々たゆまぬ努力を続けていた。本展では、初期から晩年までの作品を展示、特に遺された多くの下絵、模写、素描などから、一生継続した松園の絵に対する情熱を紹介する。

期 間 5月11日(日)まで

10:00～17:00 (入館は16:00まで)

休館日 月曜日 (5/5は開館、5/7は休館)

会 場 松伯美術館
奈良市登美ヶ丘2-1-4
TEL.0742-41-6666

観覧料 一般 (大高生含む) 1,000円、
中小生500円



上村松園「鼓の音」 松伯美術館蔵

本欄掲載の①～⑦の美術館等の招待券ご希望の方は、電話等で申し込み後、招待券送付用の切手(82円)を日本建築協会事務局までお送りください。

第45回 平成25年度 中部建築賞 受賞作品発表

昨年暮れ12月11日、中部建築賞協議会が主宰する第45回中部建築賞の入賞作品が発表された。同賞は地域と環境に根ざした優れた作品を表彰し、中部圏の地域社会の発展に寄与している。

25年度の応募総数は一般部門、住宅部門合わせて85件で入賞、入選された受賞作品は以下の通りであった。尚、当協会東海支部は現在、中部建築賞協議会の監事を務め文字通り、中部圏の「建築と社会」の発展に貢献している。

【一般部門】 入賞



■「田園オフィス」(AUAU建築研究所)



■「一宮市尾張一宮駅前ビル」(山下設計)



■「八事交番／八事山興正寺参拝者駐車場／興正寺公園」
(三菱地所)



■「北沢建築工場」(三澤文子Ms建築設計事務所／MSD 稲山正弘
ホルツストラ)

■「高志の国文学館」(シーラカンスアンドアソシエイツ)

入選



■「dnb」(中渡瀬拓司)

■「アロン化成ものづくりセンター」(森下建築総研)

【住宅部門】 入賞



■「光の郭」(エムエーススタイル建築計画)

■「工場から家」(裕建築計画)

■「覚王山の住宅」(ワーク・キューブ)

■「緑縁の栖」(エムエーススタイル建築計画)

入選

■「稲沢の住宅 STAGE (S)」(clublab)

■「林の中に住む」(丸山晴之建築事務所)

理事会

第7回常任理事会

2月26日(水) 16:00~18:00
日本建築協会会議室
出席者 香西会長ほか5名
議事(1) 平成25年度収支見込
(2) 平成26年度事業計画
(3) 平成26年度予算
(4) 平成26年度役員の推薦依頼
(5) ええとこ魅力増アイデア(仮称)提案コンクール
(6) 6月総会の日程および講演のテーマ・講師

編集委員会

第11回編集・広告企画合同委員会

2月12日(水) 17:30~19:00
日本建築協会会議室
出席者 米井委員長ほか5名
議事(1) 3月号特集「東海特集」小特集「ABENO REBORN」
4月号特集「私の空間作法」
5月号特集「オフィスパビル設備の変遷とこれから」6月号特集「オフィスのこれから」7月号特集「第61回青年技術者」8月号特集「おもてなしと建築ほか3案」
(2) 広告依頼先検討

第3回広告企画小委員会特別委員会

2月19日(水) 13:00~14:00
株東畑建築事務所会議室
出席者 米井委員長ほか17名
議事(1) 2014年6月号特集「オフィスのこれから」

第6回建築計画系分科会

2月4日(火) 19:00~20:45
日本建築協会会議室
出席者 渡部幹事ほか6名
議事(1) 8月号特集の企画

第7回建築計画系分科会

2月19日(水) 19:00~20:45
日本建築協会会議室
出席者 渡部幹事ほか5名
議事(1) 8月号特集の企画

第10回構造分科会

2月7日(金) 18:00~19:00
日本建築協会会議室
出席者 角田幹事ほか3名
議事(1) 構造の頁の企画
(2) 11月号特集の企画

第10回設備分科会

2月5日(水) 18:00~19:45
日本建築協会会議室
出席者 橋本幹事ほか7名
議事(1) 設備の頁の企画
(2) 特集執筆者の検討

第8回施工材料分科会

2月18日(火) 17:00~18:00
日本建築協会会議室
出席者 中野幹事ほか4名
議事(1) 10月号特集の企画

(2) 編集委員の後任

第11回法令分科会

2月19日(水) 15:00~17:00
日本建築協会会議室
出席者 吉岡幹事ほか2名
議事(1) 法令コーナーの企画
第10回作品作風小委員会
2月27日(木) 19:00~21:00
日本建築協会会議室
出席者 稲垣幹事ほか5名
議事(1) 作品の掲載状況の報告
(2) galleryの掲載報告と予定
(3) “私の空間作法”応募状況報告とレイアウト作成

事業委員会

第10回U-35委員会

2月14日(金) 19:00~21:30
昭和設計会議室
出席者 駒井幹事ほか7名
議事(1) フェイスブックの運用について
(2) 2nd actionの企画検討

出版委員会

第9回出版委員会

2月20日(木) 18:00~19:15
住まいの研究室
出席者 西委員長ほか9名
議事(1) <プロのノウハウ>と特装本の経過報告
(2) 進行中のテーマの検討
(3) 新テーマについて
(4) 出版記念講演会について

教育委員会

第1回大阪府住まいづくり教育普及協議会出張講座

2月28日(金) 12:40~15:15
枚方市立明倫小学校
テーマ「ぼうさいのはなし」他

100周年関連事業委員会

第11回10年委員会

2月6日(木) 18:30~20:00
日本建築協会会議室
出席者 設楽委員長ほか5名
議事(1) 大阪ええとこ創生プロジェクト「コンペ案検討」

見学会

「久田家半床庵」茶室見学会

2月15日(土) 14:00~16:15
講師 中村昌生
(京都工芸繊維大学名誉教授)
委員 豊田小委員長ほか3名
参加者 22名

「あべのハルカス」見学会

2月19日(水) 16:00~18:15
講師 松田知也(竹中工務店)
鉄谷守男(近畿日本鉄道)
委員 豊田小委員長ほか10名
参加者 30名

編集委員会(平成26年度)

■副会長

設楽 貞樹
本多 友常
■編集担当理事
西 博康
押味 至一
佐藤 榮一
竹中 統一
立成 良三
松本 眞一
吉村 英祐
◎米井 寛

■副委員長

○勝山 太郎
■特集小委員会
■計画分科会

★計画系

飯田 匡
鈴木 克彦
高橋 和也
田中 直人
不動 剛志
紅谷 昇平
松田奈緒子
三宅 次郎
△守井 辰
吉村 英祐
★建築計画系
荒木 宏之
大西 広朗
神戸 嘉也
静 茂夫
下坂 浩和
野田 隆史
橋本 祐典
三谷 帯介
矢野 展寛
米山 剛史
△渡部 剛

★インテリア・住宅

川合 隆之
黒柳 亮
酒井 雅男
谷垣 浩一
塚口眞佐子
ベリー史子
△間瀬 一博
森岡 拓也

■構造分科会

秋田 智
岡田 健
岸本 光平
小芝 淳一
瀧野 敦夫
△角田 耕一
橋本 宗明
松村 健
宮久保秀樹
向井 洋一

■設備分科会

赤澤 正治
岩城 憲治
梶井 宏修
北野 勝也
樺田 輝生
夏井 重行
野崎 正二
△橋本 直樹
福谷 周
梶井 貴廣
宮崎ひろ志
村上幸三郎

■施工材料分科会

荻原 友貴
後藤 尉彦
桜井 和男
高橋 秀一
△中野 敬史
藤丸 啓一

■法令分科会

岩見 吉剛
河野 学
小松 輝樹
△吉岡 忠
平山 英
井上 久明
田中 幸夫

■作品作風小委員会

居内 章夫
池上 明
稲垣 和江
井上 雅祐
加嶋 章博
菊池 浩輔
倉橋 尉仁
倉瀬奈千子
澤田 純一
鞆野 淳司
豊田 充広
鳥居 久人

▲西田 佳代

芳谷 晴彦
増田 敬彦
■広告企画委員会
大谷 金由
小川 雄介
小山 昭
権代 晃
藤田 昌宏
▲前田 衛
山辻 直樹

◎委員長 ○副委員長

▲小委員会委員長 ▲幹事

(順不同)

印刷 2014年3月27日
発行 2014年4月1日
発行人 一般社団法人日本建築協会
大阪市中央区大手前1-7-31
電話 06-6946-6981
印刷所 ㈱中島弘文堂印刷所
定価 1230円(税込)

©「建築と社会」誌の記事の無断転載を禁じます。

電気工事・空調工事・水道衛生工事・消防施設工事
および機械器具設置工事の設計、監理、施工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 電話 (06) 6441-8231
東京本社 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目15番10号 電話 (03) 3261-8231
支店 名古屋・福岡
支店 札幌・仙台・新潟・さいたま・横浜・豊田・金沢・京都・神戸・天理・岡山・
広島・高松・熊本
営業所 帯広・函館・青森・秋田・盛岡・福島・山形・前橋・宇都宮・土浦・千葉・
長野・松本・静岡・刈谷・津・岐阜・富山・福井・和歌山・東近江・山口・
松江・松山・高知・徳島・宮若・鳥栖・長崎・大分・宮崎・鹿児島・那覇
海外支店 シンガポール・ホンコン・マニラ（フィリピン）・ベタリンジャヤ（マレーシア）
技術研究所 〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地 電話 (0492) 58-1511

お客様の抱える問題やニーズに
より速やかに、より丁寧に対応するために

企画・デザイン、制作、製版、印刷

株式会社 **中島弘文堂印刷所**

本社 〒537-0002 大阪市東成区深江南2丁目6番8号
TEL.06-6976-8761/FAX.06-6976-8765
東京事務所 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1丁目9番地ニュー御茶ノ水ビル601号
TEL.03-3526-5580/FAX.03-3526-5582

<http://www.n-kobundo.co.jp/>

地球環境を守り、100年建築に貢献する

NACL のアルミ表面処理

株式会社日本電気化学工業所

<http://nacl.jp> E-mail: naclco@nacl.co.jp

本館営業部 〒560-0036 大阪府豊中市豊池西町2丁目7番26号 NACLビル2階

TEL (06)6843-1235(代) FAX (06)6853-1632

東京事務所 〒111-0051 東京都台東区蔵前2丁目4-7

TEL (03)3862-0978(代) FAX (03)3862-7008

コンクリートのひび割れ対策に

高性能膨張材

デニカパワーCSA

JIS A 6202
適合品

特 性

- ・乾燥収縮の低減
- ・自己収縮の低減
- ・水密性の向上(防水性)
- ・温度ひび割れの低減

主な用途例

- ・合成デッキスラブ
- ・土間スラブ
- ・RC 構造物
- ・自己充填コンクリート
- ・マスコンクリート 他

膨張材以外にも

- ・無収縮グラウト材
(タスコン)
 - ・躯体防水材
(シャガード)
 - ・ポリマーセメントモルタル
(RIS シリーズ)
- など、各種混和材(剤)を
ラインナップしています。

●資料のご請求お問い合わせは・・・

電気化学工業株式会社
近畿地区販売店

浜宗産業株式会社 本社

〒629-3101 京都府京丹後市網野町網野 126
TEL 0772-72-2220 FAX 0772-72-2888
舞鶴営業所・福知山営業所・豊岡営業所

金森藤平商事株式会社 大阪営業所

〒561-0817 大阪府豊中市浜 1 丁目 1 番 7 号
TEL 06-6332-6861 FAX 06-6332-6884

小浦産業株式会社

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1 丁目 14 番 6 号
TEL 06-6443-6181 FAX 06-6443-6270

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO

インテリア発想×スイスイ設計 — TOTO システムキッチン CRASSO

2014年
3月発売

ソファやダイニングを選ぶように、キッチンだって感性で選んでいいと思う。
インテリア感覚で選べるクラッソは、きっと毎日楽しみを与えてくれるはずだから。

タッチスイッチ水ほうき水栓



先端を軽く
ひと押しするだけだから、
水洗はいつもきれいなまま。

すべり台シンク



3°の傾斜でゴミが
すべり流れていくので
いらない手間が省けます。

らくプル親子収納



自分に合わせ高さを
調整出来るので、必要なモノが
サッと取り出せます。

CRASSO

クラッソ

商品のお問い合わせは TOTOお客様相談室 ☎ 0120-03-1010
受付時間 9:00～17:00 (夏期休暇・年末年始を除く) TOTOホームページ www.toto.co.jp

TOTO
GREEN
CHALLENGE